

神さまが「みんなのことが大好きだ」ということを、語っています。

神さまがみんなのことが大好きだから、神さまから離れないために、十戒（10のことば）を教えて下さいました。礼拝へと招いて下さり、説教、礼典、祈りをお教え下さいます。

そして4月になり、新しい学校に入ったお友だちもいます。

（小学生）香穂ちゃん、実友ちゃん、祥太郎くん、

（中学生）謙くん、

おめでとうございます。

そして4月になると、教会においても大きなイベントがあります。イースターです。私たちは、イエスさまが救い主、神さまであることを信じています。イエスさまがどのようにして、私たちの救いを行って下さったかと言えば、イエスさまが十字架にお架かりになり、私たちのために苦しみ、死んで下さったことです。そして、死から三日目の朝に甦って下さいました。それが復活であり、イースターです。今年は2週間後の21日がイースターです。

だからこそ、今日から、イエスさまが、私たちのために十字架に架かって下さったことを学びたいと思います。先週、子どもメッセージで「聖餐式」について学びました。丁度、今日、準備されています。この聖餐式は、主の晩餐とも言われますが、イエスさまが十字架に架かれる前の夜、弟子たちと食事を取られたのが最後の晩餐です。「晩餐」とは「食事」のことです。イエスさまは、この最後の晩餐において、私は十字架に架かるけれども、これからイエスさまの十字架を覚えて、晩餐を持ちなさいとお語りになりました。

イエスさまが十字架に架かれた時、体が釘で貫かれました。割かれます。パンは、このイエスさまの体のことを覚えます。十字架に架けられた時、多くの血を流されます。ぶどう液は、キリストの血のことを覚えます。

礼拝において、毎月、聖餐式を覚えるのは、キリストが私たちの救いのために、十字架にお架かり下さったのだ、死と復活を遂げて下さり、私たちも復活による天国が約束されているのだ、ということを、忘れないためです。

契約の子どもとされているみんなも、神さまの恵み、救いにあることを覚えて頂きたいと思います。

お祈りします。

主なる神さま、イエスさまが、私たちの救いのために、十字架にお架かり下さい、ありがとうございます。どうか、私たちが、いつもイエスさまの恵みを忘れることなく、神さまを信じて、救いに喜んで生きることができるよう、お守りください。

このお祈り、イエスさまのお名前により、お祈りします。 アーメン。

今週は受難節、つまり、イエスさまが十字架に架けられ、死を遂げ、そして三日目の朝、つまり日曜日の朝に復活されたことを覚える一週間です。

なぜ教会は十字架で死んで行かれるイエスさまのことを、いつまでも覚えるのかと思われるかもしれませんが、しかし、私たちにとって大切なことは、イエスさまは死んで終わりではなかったということです。つまり、十字架で苦しまれ、死んで行かれました。そして墓に葬られました。それが金曜日の夕方です。そしてユダヤ教の安息日が始まり、土曜日、そして安息日が明けて、日曜日の朝、イエスさまは復活されました。生き返られたのです。ゲームではよくありますが、人間が生き返ることは出来ないと思われています。しかし、イエスさまは復活されました。イエスさまが、真の神さまだから出来たのです。

だれも出来ない復活が出来る方がイエスさまであり、このイエスさまを私たちが信じる時、私たちもまた復活することが出来ます。みんなにとって、死ぬことはずっと先のことであり、考えられないことかもしれません。しかし、みんなも年をとり、やがて死の時を迎えます。しかし、イエスさまが生き返られたように、イエスさまを信じる人は生き返ります。

ラザロという人がいました。彼はまだ青年であったと思いますが、死んでしまいました。イエスさまはその時には、その場におられませんでした。ラザロが死んで、4日目になり、イエスさまがラザロの所に駆け付けます。普通、人が死んで4日経つと臭くなります。魚も、時間が経つと臭くなることを知っているかと思いますが、同じです。しかしイエスさまが、墓に葬られていたラザロに「出て来なさい」とお語りになった時、ラザロは生き返り、墓から出て来たのです。昔の墓は、洞穴でしたので、すぐに出てくることのできたのです。

イエスさまの十字架と復活を信じるということは、私たちもラザロのように、死んでも生き返ることを信じる事が出来ます。この後、みんなも一緒に見ていただきたいと思いますが、ももちゃんと光君のママが、信仰を告白し洗礼を授かります。教会に来ているみんなが神さまを信じているように、信仰を告白します。死んでも生き返る、天国に行くことが出来ることを信じたからです。天国に行くことが出来るのは、この教会にいる人だけではありません。世界中のクリスチャンがいます。アダム・エバの時代から旧約聖書の時代に生きた人たち、イエスさまの時代の弟子たち、そしてすべての時代に生きたクリスチャン、これから生まれてくる人たち、みんなが、復活して天国に行くことが出来ます。そこは一杯の人がいます。これが神さまを信じることの喜びであり、希望です。

みんなも、神さまを信じていただきたいと思います。

お祈りします。

主なる神さま、イエスさまが十字架に苦しみ、死を遂げられましたが、三日目の朝に生き返られたことを、私たちも信じる事ができるようにしてください。そして、イエスさまを信じる私たちも、復活して、天国へと導いて下さい。多くの人たちと一緒に喜ぶことが出来るようにしてください。

このお祈り、イエスさまのお名前により、お祈りします。 アーメン

今日はイースター、イエスさまが十字架の死から三日目の朝に甦られたことを記念する日です。教会では、クリスマス、イースター、ペンテコステの3つが大切な日、お祝いの日です。

クリスマスは、イエスさまがお生まれになられた日（12月25日）。

そして今日のイースターは、イエスさまが復活された日（3月末から4月中旬）。

そしてペンテコステは、イエスさまが天に昇られて、私たちのために聖霊が与えられた日、教会の誕生日です。

イエスさまが甦られたことについて、ルカによる福音書24章には、次の様に記されています。

婦人達は、安息日には掟に従って休んだ。そして、週の初めの日の明け方早く、準備しておいた香料を持って墓に行った。見ると、石が墓のわきに転がしてあり、中に入っても、主イエスの遺体が見当たらなかった。そのため途方に暮れていると、輝く衣を着た二人の人がそばに現れた。婦人たちが恐れて地に顔を伏せると、二人は言った。「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。まだガリラヤにおられたころ、お話しになったことを思い出さない。人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている、と言われたではないか。」そこで、婦人たちはイエスの言葉を思い出した。そして、墓から帰って、十一人とほかの人皆に一部始終を知らせた。それは、マグダラのマリア、ヨハナ、ヤコブの母マリア、そして一緒にいた他の婦人たちであった。

イエスさまは、死から甦られました。真の人ですが、同時に真の神さまだからこそ、出来たことです。最初、墓に来た女性たちも信じるのが出来ませんでした。天使の言葉を信じました。

復活されたイエスさまは、この後、弟子たちにも現れ、そして、今までイエスさまがお語りになられてきたことを改めて確認し、イエスさまが復活されたように、イエスさまを信じる人に、復活の生命と天国での永遠の生命が約束されていることを信じるようになるようになっていきました。

弟子たちが、イエスさまを信じたように、私たちもイエスさまを信じて、イエスさまを証しすることが出来るようになっていきたいですね。

お祈り

天のお父さま、今日、イエスさまの甦りを覚えて、イースターをお祝いしています。イエスさまが死から甦られたように、私たちも甦り、天国での永遠の生命をお与え下さい。そして喜びで満たして下さい。

このお祈り、イエスさまのお名前によってお祈りします。 アーメン

